

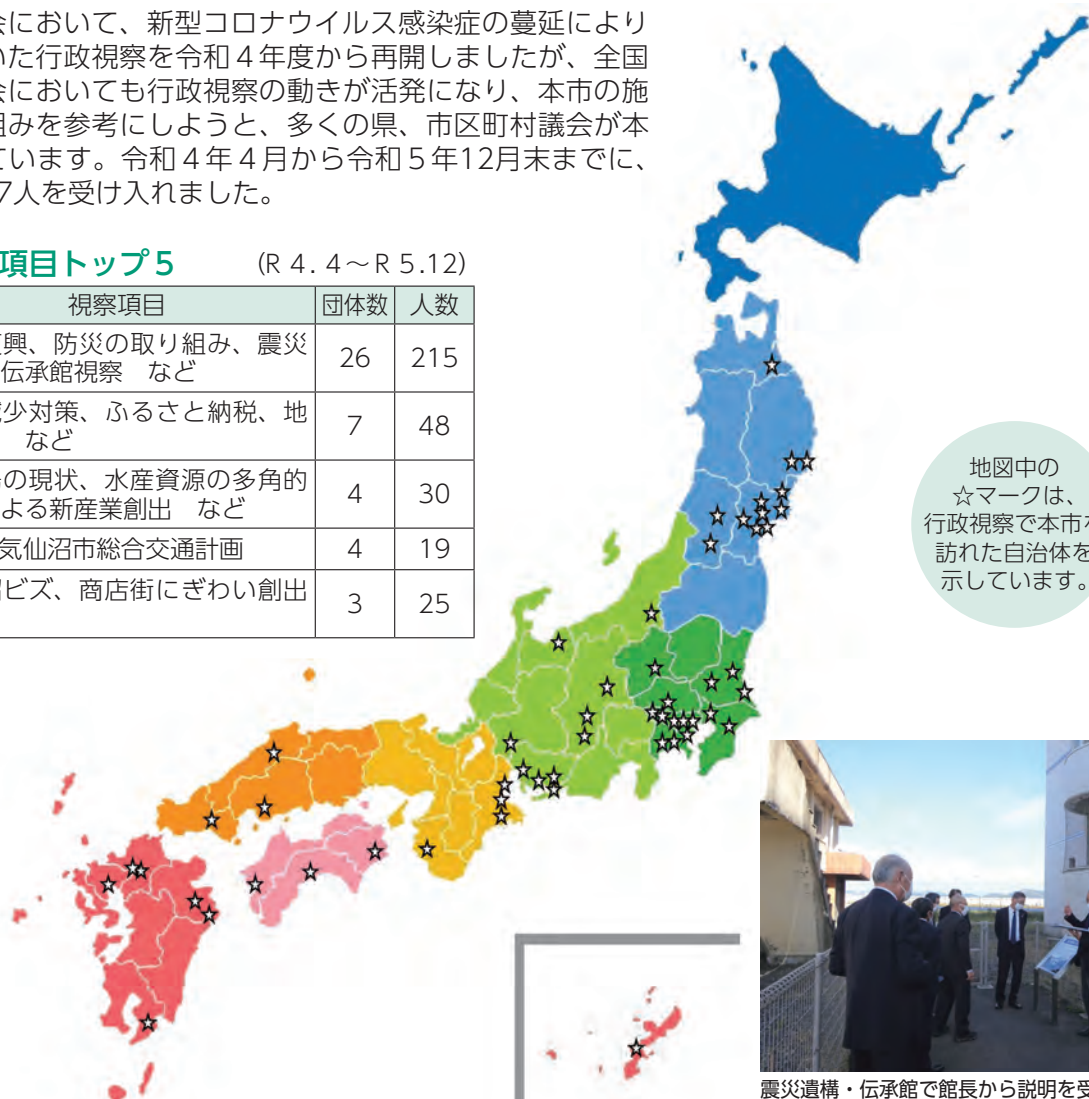
# 全国各地から行政視察を受け入れています

本市議会において、新型コロナウイルス感染症の蔓延により自粛していた行政視察を令和4年度から再開しましたが、全国各地の議会においても行政視察の動きが活発になり、本市の施策や取り組みを参考にしようと、多くの県、市区町村議会が本市を訪れています。令和4年4月から令和5年12月末までに、54団体417人を受け入れました。

## 行政視察項目トップ5 (R 4. 4～R 5.12)

	視察項目	団体数	人数
1	震災復興、防災の取り組み、震災遺構・伝承館視察 など	26	215
2	人口減少対策、ふるさと納税、地方創生 など	7	48
3	魚市場の現状、水産資源の多角的利用による新産業創出 など	4	30
4	BRT、気仙沼市総合交通計画	4	19
5	気仙沼ビズ、商店街にぎわい創出 など	3	25

地図中の☆マークは、行政視察で本市を訪れた自治体を示しています。



震災遺構・伝承館で館長から説明を受ける

## 議員定数のあり方審議会が開催されました

「気仙沼市議会議員定数のあり方に関する審議会」は、令和5年4月の第1回以降、地方議会の基礎的知識や定数の推移などを委員間で共有した上で、他自治体との比較や答申に向けた論点整理などを行ってきました。

1月12日の第5回審議会では、これまでの議論を踏まえた総括的な意見交換が行われたほか、今後予定する議員との意見交換の実施方法などについて確認しました。次回第6回審議会は、2月上旬に開催する予定です。

## 編集後記

元日に発生した能登半島地震で亡くなられた方々へ心より哀悼の意を表し、被災された方々へお見舞い申し上げます。

12月定例会の補正予算では、経済支援策として、物価高騰で影響を受ける市民と産業分野への予算などが計上されました。わずか1・2年前までは、新型コロナウイルス感染症に関連する予算審議が多かったことを思うと、世の中が絶えず動き、変化し、新たな課題が生じる現実に驚くばかりです。

議会だよりは市の施策を伝えると共に、世相を反映する媒体です。自分に関する情報を得ると同時に、社会の人々や出来事を考えるきっかけとしていただけたら嬉しいです。

今号で、市議会がこれまで取り組んできた議会改革の内容を紹介しました。是非、市議会の変化を感じていただきたいと思います。

広報広聴委員会

委員 村上 伸子

議会だよりいかがでしたか。お読みになった感想やご意見を左記までお寄せください。



古紙配合率70%再生紙 植物油インキを使用しています



本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。